

「援助チームシート」作成のポイント

困っている児童生徒を援助するための「作戦会議」を成功させましょう。

「援助チームシート」を作る会議のイメージは、「作戦会議」です。

この「作戦会議」の目的は、子どものために、みんなで、今自分たちにできることを考えることです。

誰かを批判したり、一方的な要求をしたりすることは厳禁です。会議を始める前に、この趣旨を参加者全員で確認しましょう。



全員で「援助チームシート」を囲んで、できる援助、必要な援助を考えましょう。

まずは、当該児童生徒の情報を、持ち寄しましょう。

〔石隈・田村式 援助チームシート(4領域版)より〕
児童生徒 〇年 〇組 氏名 〇〇 〇〇

実施日時 〇〇年〇〇月〇〇日 次回実施日時 〇〇年〇〇月〇〇日 ~

出席者 母親、担任、適応指導教室相談員、SC、生徒指導主事(コーディネーター)

苦戦していること 生活習慣の乱れが改善しない。

	学習面	心理・社会面	進路面	健康面
「いいところ」は、できるだけ多く出しましょう。	・学習状況 ・学習スタイル ・学力 など	・情緒面 ・人間関係 ・ストレス対処 など	・得意なこと ・将来の夢 ・進路計画 など	・健康 ・身体面での様子 など
いいところ (児童生徒の自助資源)	・理科が好き(担任)	・週1回は適応指導教室に通える。(相談員)(母)	・高校進学希望(母) ・コンピュータやネットゲームが好き(担任)(SC)	・概ね良好(母)
情報のもと 気になるところ (援助が必要なところ)	・学習意欲が低い。(相談員)(担任)	・自己主張が苦手(担任)(相談員)	・努力が継続できない。(母)	・朝なかなか起きられない。(母) ・運動不足(母)
本人や保護者が見てもいいように、傷つけない内容と表現に留意しましょう。	・適応指導教室で、学習の援助をする。(相談員)	・話かけると、答えるようになった。(相談員)(SC)	・興味のある話題で関係づくりをする。(担任)(SC)	・インターネット使用時間など決めを本人にする。(母)
結果				

記載する内容は、より具体的に書きましょう。

シートに記入する情報には、できる範囲で情報源を記載しましょう。

これらの情報や「理解シート」等をもとにして、目標と援助方針を決めます。

目標と援助方針に基づいて、誰がいつからいつまでどんな援助を行うかを決めます。

- 援助内容は、当該児童生徒が学校生活をより豊かに送るために何が必要かということに、ポイントを置きましょう。(本人が、自分で何ができて、心のケアに関する援助以外で、今どんな援助を必要としているのかを考えましょう。)
- 「誰がいつまでに」を決めるときには、決して当該児童生徒本人、保護者、教員を批判しないようにしましょう。

すべての枠を埋める必要はありません。まずは入れられるところから始めましょう。